

平成26年度 学校自己点検・自己評価

1. 学校の教育目標

新潟こども医療専門学校は、学校法人新潟高度情報学園の組織の中の一つであり、その教育理念は学校教育法に基づき「商業実務および教育・社会福祉分野において専門的な知識・技術と合わせ、教養人格度の高い道義・礼節・作法をも身に付けた人材の育成」を目的とした教育機関である。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

こども未来学科・・・大学卒業の証である学士を取得することから、幼稚園教諭免許・小学校教諭免許・養護教諭免許が一種であることを理解し学力・資質ともに向上し公務員試験合格を目指す。

こども発達学科・・・職業教育の特色として実習の多さがかかげられる。そのことを生かして実践力の向上を目指し、就職につなげていく。

保育科・・・2年間で保育士と幼稚園教諭2種免許状を取得するため、学力はもちろん精神力の向上を目指す。

医療事務総合学科・・・職業実践専門課程の認可を受け、知識・技術・技能を机上の勉学と共にしながらより職業に必要な実践・専門的な能力の育成を課外実習を通して教行い職業教育の維持向上を図る。また、単位制導入により個々の将来像と照合し効率的に学習を進める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1 4
・ 学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1 4
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1 3
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 3 2 1 3
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 3 2 1 3

① 課題

学校の理念や目的、特色等は担任制をとっているため学生への周知は徹底されている。また、関係の園や院に対してもその点で信頼を得られている。保護者への周知に力を入れる必要がある。

学校の将来構想について昨今の少子化や大学入学易化の変化により、中長期的に柔軟に対応していくことが必須の課題である。

② 今後の改善方策

学校の理念や目的、特色等を保護者等に周知するにあたり、HP等のWebを利用した方法を検討していく必要がある。
 学科ごとの教育目標をより具体化し、統一した育成人材像に加え学科に対応するニーズにあった取り組みを考えていく必要がある。

③ 特記事項

特になし

(2) . 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4 3 2 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

情報システムによる業務の効率化を図ってはいるが、複雑化によるチェック体制を見直す必要がある。また、システムサーバーの老朽化に伴い機器類のメンテナンスが必須となる。
 意思決定機関は詳細に分類され部署ごとの会議によって迅速な対応ができるようにしているが、有効に機能するようさらなる組織的な対応が課題となる。

② 今後の改善方策

早急にシステムサーバーのメンテナンス整備を実施し、セキュリティー管理の強化を適切に行う。
 情報システムに関しては、個人情報の漏洩防止に対応するとともに、業務の効率化のためのシステム構築が複雑化してしまい、チェック体制が煩雑になることを避け、なるべく簡略化できるようにシステムの見直しをする。

③ 特記事項

特になし

(3) . 教育活動 (こども未来学科)

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 (3) 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育 (産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等) が体系的に位置づけられているか	4 (3) 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 (3) 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員 (本務・兼務含む) を確保 するなどマネジメントが行われているか	(4) 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	(4) 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

4年間の在籍期間をそれぞれの学年で目標を持って、意欲を継続させること。

② 今後の改善方策

職業（資格）選択に対する指導を1年次から開始し、具体的な就労に向けての動きを早期に実施する。

③ 特記事項

特になし

(3) . 教育活動（こども発達学科）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

・ 科目担当で同様の内容を学習させるなど重複が同時期にある。
・ 保育力向上のために授業を工夫したり、補講を行ったりしているが、学生の学力資質の差が大きく充実に対応できているとは言えない。

② 今後の改善方策

- ・保育力向上を目指し保育実習指導と教材研究の科目において2コマ続きに授業を組立てクラスを半分に分けた少人数制の授業を試みる。

③ 特記事項

- ・職員の専門分野での先端的な知識・技能がより向上するよう研修会等への参加する機会と時間を設けていく必要があると思う

(3) . 教育活動 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 (3) 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 (3) 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 (3) 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 (3) 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

- 習得しなければならない教科コマ数を授業日数内に納めることが難しくなっている

② 今後の改善方策

- ・ 学校行事等を授業として行う（例：スポーツ大会→1年次運動遊び授業として）
- ・ 全校の年間スケジュールに無理に合わせず、保育科としてスケジュールを設定する

③ 特記事項

- 特になし

(3) . 教育活動（医療事務総合学科）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

- 外部からのアドバイスを活かすための職員の体制づくりが課題である。

② 今後の改善方策

職員のスキルアップにつながる講習を受ける機会を設け、仕事の幅を広げる。

③ 特記事項

特になし

(4) . 学修成果 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

保育士、養護教諭を現役で輩出することができたが、より一層の公務員対策講義などの充実が課題となる。

② 今後の改善方策

3年次の教員に向けたコース選択ではあるが、意識付けを1年次から行い、目標を持った1年となるような指導を個別で行っていきたい。

③ 特記事項

特になし

(4) . 学修成果 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

- ・ 就職内定は早い時期からあり、1名残り100%近い就職率をあげた。
しかし、1年間は離職なしで活躍できるか、職場や仕事内容に適合していいけるか不安は残る。

② 今後の改善方策

- ・ 卒業生の動向を把握する。

③ 特記事項

特になし

(4) . 学修成果 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

就職に直面したとき、学生が後悔する場面が多々ある。それはピアノが弾けないなどの技術面から日常で担任が伝えている些細な注意などまで様々である。学生が卒業し、現場に出た時に実感することが多いと聞くため、学生時代に指導者の言葉を真摯に受け止められる力を養いたい。

② 今後の改善方策

保育力だけでなく社会常識を身につける必要性という点からも、新社会人として責任を与えられた卒業生の講話を在校生向けに行えると良い。

③ 特記事項

特になし

(4) . 学修成果 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

卒業生の退職についてトラブルの有無が把握しにくい。卒業生との連絡がスムーズに取れない。

② 今後の改善方策

在校生、卒業生とも信頼が築けるよう、個人と向き合った関係を目指す。

③ 特記事項

特になし

(5) . 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・ 保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・ 卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

上記項目の評価が「3」についても、より能動的な対応ができる体制づくりが望ましい。
就職・研修支援担当の補充を早急に行う。

② 今後の改善方策

卒業生の動向調査を行っていきたい。

③ 特記事項

特になし

(6) . 教育環境 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

〔 教員免許コース選択によって、授業数が異なるため、教室以外の自習室の確保が課題となる。 〕

② 今後の改善方策

〔 落ち着いて自習ができる環境を確保できるように教室配置を心がける。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(6) . 教育環境 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

〔 ・ 特別教室(多目的ホール)確保が厳しい。又、学生面談をするための空き教室がないことを不便に感じる。 〕

② 今後の改善方策

〔 ・ 医療キャンパスに相談室を設けることができないか検討。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(6) . 教育環境 (保育科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 (3) 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 課題

(音楽実習室の電子ピアノの数が多く、通路の確保が万全でない。災害時にすばやく避難できるのか。)

② 今後の改善方策

(・ 音楽実習室の楽器の配置を考える。ただし、その場合、ホワイトボードの面を変えなければならない
・ 音楽実習室自体を広くする)

③ 特記事項

(特になし)

(6) . 教育環境 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	(4) 3 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 課題

(非常階段の老朽化が見られ、緊急時に使用できない恐れがある。)

② 今後の改善方策

(非常階段の補修。)

③ 特記事項

(特になし)

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

〔 学納金の納入時期を今後も検討する必要がある。 〕

② 今後の改善方策

〔 支払いの困難な者については、個別に延納・分割等で対応していく。
また、奨学金利用者が増えているため、利用者のための制度も検討したい。 〕

③ 特記事項

〔 諸経費の見直しにより月々の費用負担が軽減された。 〕

(8) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

〔 特になし 〕

② 今後の改善方策

〔 特になし 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

〔 全項目について適正な運営を行うよう努めているが、個人情報保護管理を強化しなければならないと考えている。 〕

② 今後の改善方策

〔 課題に挙げた個人情報保護管理について、教職員の意識強化だけでなくコンピュータシステム上の保護管理をさらに強化すべきと捉えている。 〕

③ 特記事項

〔 法令遵守のための体制を強化し、周知徹底することが重要である。また個人情報の保護に関しては、定期的な確認とともに、より一層の意識の統一を図っていくことが大切である。 〕

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 課題

〔 福祉施設に就職を希望する学生と直結するような、ネットワークは構築されているとは言えない。 〕

② 今後の改善方策

〔 より一層の連携を図るために、施設見学やボランティア活動などで学校として協力できるように努力する。 〕

③ 特記事項

〔 幼稚園教諭免許取得特例講座を平成27度、県内全域を対象に講座開講。 〕

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校が挙げる「商業実務及び教育・社会福祉分野において、専門的な知識・技術と合わせ教養人格の高い道義・礼節・作法をも身につけた人材の育成」の教育目標を軸に、日々の積み重ねにより学生の指導、就職へと繋がっているのではないかと考える。今後も「道義・礼節・作法をも身につけた人材の育成」に向けた取り組みを継続的に行っていく。

学生の資質向上を現実的な目標とするために、当校では担任制の利点を生かした学生一人ひとりを大切にす手厚い指導を行っている。そこで明らかになる学生指導上の課題を役職会議や職員会議を通して情報共有を図り、学校全体で学生一人ひとりを育てる体制をとっている。今後もこの体制を崩すことなく教職員共通認識の下で学生指導、学校運営を行っていききたい。

さらに学生の現状を踏まえた教育計画を立て、系列付属園や医療機関等における実習の充実、近隣地域との関わりによる学生の資質向上を目指した取り組みをしていくことを考えていきたい。そして、「こども分野」「医療分野」それぞれの分野に関わる業界ニーズをいち早く捉え、自立した学生の指導を目指していきたい。また、当校は教科指導と担任を併用して行っている。また、担任経験年数や経験職種の違い等もあることから、学校全体での教職員の資質向上に向け、教職員研修、研究活動などを充実させた取り組みをしていくことを考えていきたい。今年度より全学科が職業実践専門課程を文部科学省より認可され、学校内の学習だけでなく、学外の企業との連携を取り学生たちの資質向上を図りたいと考えている。

最後に、この点検・評価は透明性と公開性の高い評価であり、本校が「専門学校等評価基準」に基づく自己点検・自己評価活動を適切かつ適正に行っていること、および本校の教育活動と学校運営の全てが基準を満たしていることを証明するものである。

本校はより良い教育の場であることを目指して更なる改善に努めたいと考えている。